

これは、事実か、真実か、現実か



幼児売買春、臓器密売の知られざる“闇”が今、明らかになる

阪本順治監督作品

# 闇の子供たち

江口洋介 宮崎あおい 妻夫木聡 プラパドン・スワンパン プライマー・ラッチャタ 豊原功補 鈴木砂羽 佐藤浩市

原作：梁石日（『闇の子供たち』幻冬舎文庫） 主題歌：桑田佳祐（『現代東京奇譚』タイシタレーベル/スピードスターレコーズ/ビクターエンタテインメント）

第43回カルロヴィヴァリ国際映画祭 正式招待作品 推薦：(財)日本ユニセフ協会 / コードプロジェクト推進協議会

製作：セディックインターナショナル / ジェネオン エンタテインメント / アミューズ 配給：コーソシネマ

2008年 / 日本映画 / 2時間18分 / アメリカンビスタ / ドルビーSR / PG-13

©2008 映画『闇の子供たち』製作委員会

yami-kodomo.jp

命のついた札



# この夏、子供の生命の尊さを問う!

本年度最大の衝撃!! 『顔』『KT』『亡国のイージス』阪本順治監督の最高傑作

「一体何ができるのだろう。“役者として参加する。”自分にできることはそれでした。」——江口洋介

「私にできることがあるだろうか?」と考えているときに

この映画のお話をいただき、少しでもその現状を伝えられるのなら、ぜひ参加したいと思いました。」——宮崎あおい

「目の前の現実から逃げていいのかわ、自分にも何かできるのではないかと考えました。」——妻夫木聡

「阪本監督とは直接お逢いしましたが、率直に申しますと、

“男の私でも惚れ惚れするようなステキな”方でした。」——桑田佳祐(主題歌)

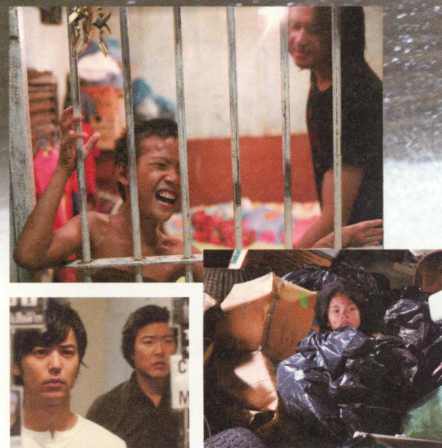
「映画化は難しいと思っていた。しかし、阪本順治監督は果敢に挑戦し、困難な状況を乗り越えて実現したのである。

その勇気と問題意識の高さに敬意を表したい。」——梁石日(原作)



日本を代表するスタッフ・キャストらが、すべてをかけて伝えたかったこと。

これは、決して遠い国のできごとではない。タイでは今も、お金では買えないはずの子供の命が現実には売買されている。人身売買と幼児売買春、違法な臓器移植…。そして加害者の中には、日本人も多いという重い事実。その事実を伝えようと、これ以上ないスタッフ・キャストが名を連ねた。原作は「夜を賭けて」「血と骨」などで名高い小説家、梁石日。映画化不可能と言われたその小説とは異なる、誰もが凍りつくラストまでを脚本化し、劇映画として完成させた監督、阪本順治。新聞記者役として真っ向から闇に立ち向かった江口洋介。痛いほど純粹でまっすぐな女性を演じた宮崎あおい。挫折を乗り越え掘るべき事を見つけるカメラマンを演じた妻夫木聡。そして、サザンオールスターズの桑田佳祐が、この映画のために主題歌を書き下ろした。全ては見えない闇の世界に光を照らすために。



「生きたままって、知ってましたか? 臓器を提供する子供です。」

子供たちが、欲望まみれの大人のエゴに蹂躞されていた。貧しい農村から売られ、家族と離ればなれになり売春宿に監禁されている彼らは、ベッドファイル(幼児性愛者)たちに性の玩具にされ、心身ともに耐えがたい傷を負うだけでなく、エイズにかかれればゴミ同然に捨てられ、例え健康でいられても、生きたまま臓器を抜き取られていた。タイ在住の新聞記者・南部(江口洋介)は、NGOの女性職員(宮崎あおい)とフリーカメラマンの青年(妻夫木聡)の協力を得てその事実を暴こうと行動を開始する。しかし、現実を暴き、虚げられる「闇の子供たち」を救おうともがくほどに、残酷な現実がたちはだかるのだった…。



監督・脚本: 阪本順治 出演: 江口洋介 宮崎あおい 妻夫木聡 プラバドン・スワンパン プライマー・ラッチャタ 豊原功補 鈴木砂羽 塩見三省 佐藤浩市

原作: 梁石日(『闇の子供たち』(知春舎文庫) 主題歌: 桑田佳祐「現代東京奇譚」(タイシタレーベル/スピードスターレコーズ/ビクターエンタテインメント)

第43回カルロヴィヴァリ国際映画祭 正式招待作品 推薦: (財)ユニセフ協会/コードプロジェクト推進協議会

製作: 賀賀純夫、大里洋吉 企画: 中沢敏明 エグゼクティブプロデューサー: 遠谷信幸 プロデューサー: 椎井友紀子 音楽: 岩代太郎 撮影: 笠松剛通(JSC) 照明: 杉本崇 録音: 志満順一 美術: 原田満生 編集: 蛭田智子 スクリプター: 今村治子 タイ撮影プロデューサー: 唐崎正臣、Surin Cha-Umphanit アソシエイティブロデューサー: 山口敏功、梅村安、相原裕美 キャスティングプロデューサー: 富田敏家 助監督: 小野寺昭洋 製作補: 井川浩哉 製作主任: 小泉朋 制作プロダクション: セディックインターナショナル 制作協力: KIHQ、DNA 製作: セディックインターナショナル、ジェネオン エンタテインメント、アミューズ 配給: ゴー・シネマ 宣伝: 楽音+maisonこどもbureau 2008年/日本映画/138分/アメリカンビスタ/ドルビーSR ©2008 映画「闇の子供たち」製作委員会

yami-kodomo.jp

www.opn.or.jp/5100-55008

〒104-8108 中央区銀座3-2-17

丸の内TOEI②

TEL 03(3535)4740

FAX 03(3563)1777